

## 令和3年度認定

## 【計画名：滋賀県立美術館文化観光拠点計画】

## ①計画目標の達成状況

目標項目名(単位)	R3			R4			R5		R6		R7	
	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	目標	実績	目標	実績	目標	実績
県立美術館来館者のうち、文化やアートを巡る周遊観光客の比率(%)	数値把握	57	—	R3年度比10%増	56	89%	R3年度比20%増		R3年度比30%増		R3年度比50%増	
県立美術館の利用者数(展覧会)(人)	70,000	52,080	74%	80,000	70,523	88%	90,000		95,000		100,000	
県立美術館の利用者数(教育交流事業)(人)	45,000	4,109	9%	55,000	19,199	35%	57,000		59,000		60,000	
県立美術館の外国人利用者数(人)	1,000	73	7%	2,000	126	6%	3,000		4,000		10,000	
県立美術館の利用者満足度(大変良い・よい)(%)	90	86	96%	90	90	100%	90		90		90	
県立美術館の利用者満足度(大変良い)(%)	32	44	138%	34	44	129%	36		38		40	

## ②計画目標の達成状況に関する分析・評価

<p>(分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人数について、新型コロナウイルス感染症の影響等により目標値には至らなかった。</li> <li>利用者数のうち中学生以下の割合が、計画取組前より6%増加しており、これは事業1-④、事業1-⑤による効果と考える。</li> </ul> <p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>満足度については、目標を達成できた。</li> <li>他の項目については、新型コロナウイルス感染症の影響等により達成できていない。</li> </ul>
--

## ③計画で取り組んだ事業の進捗状況

事業番号	事業名	R3	R4	R5	R6	事業類型ごとの実績額
事業1-①	文化ツーリズム推進事業	関連施設と連携会議を開催	滋賀県立美術館にアール・ブリュットおよび信楽焼常設コーナーを設置			5.6百万円
事業1-②	アール・ブリュット魅力発信事業	滋賀県立美術館での大型展覧会と、宿泊施設等での展示を実施	滋賀県立美術館での映像展示と宿泊施設での作品展示を実施			
事業1-③	展覧会魅力向上事業	滋賀ならではの展覧会と、ゆかりの地を巡るツアーを実施	滋賀ならではの展覧会とゆかりの地を巡るツアー、県立文化施設5館の紹介パネルを実施			
事業1-④	教育・交流推進事業	展覧会と連動させたワークショップを実施	学校出前事業の実施と学校団体鑑賞の受入			
事業1-⑤	企業・経済団体との連携事業	企業協賛による無料観覧デーや、法人サポーター制度を実施	企業協賛による無料観覧デーや、法人サポーター制度を実施			
事業1-⑥	美術館所蔵資料アーカイブ化事業	—	—			
事業1-⑦	パーク・ミュージアム賑わい創出事業	公園でのアートイベントやワークショップを実施	公園でのアートイベントやワークショップを実施			
事業2-①	多言語情報提供事業	—	英訳した展示解説パネルを設置			0.1百万円
事業2-②	デジタル技術を活用した展示等魅力化事業	—	—			
事業3-①	来館者サービス向上事業	ショップ・カフェでのキャッシュレス導入	—			—
事業3-②	公園周辺の移動利便向上事業	公園内にバス停を新設、バスの増便(リニューアル時)	—			
事業4-①	美術館商品開発事業	ショップ・カフェの運営再開	県内事業者と連携して展覧会毎のオリジナル和菓子を販売			—
事業4-②	ミニギャラリー運営事業	ミニギャラリーの運営開始	—			
事業5-①	公共交通機関における案内充実事業	最寄り駅での案内ボードやバナーの設置継続	—			0.5百万円
事業5-②	オンライン美術館事業	オンライン美術館の運用開始	学芸員のインタビューを交えた企画展の紹介動画を配信			
事業6-①	美術館の庭園リノベーション事業	—	—			—
事業6-②	パーク・ミュージアム整備事業	公園内にバス停を新設	—			
各年度ごとの実績額→		0円	6.2百万円			6.2百万円

#### ④事業の進捗状況に関する分析・評価

<p>(分析)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・事業1-①により、拠点施設である滋賀県立美術館に「アール・ブリュットおよび信楽焼常設コーナー」が設置され、滋賀ならではの文化資源をテーマにした観光や周遊のきっかけになる環境を作ることができた。</li><li>・事業1-②により、観光客等に対して作品や作家の認知度が向上した。また、作品展示スポットや県内の制作現場を紹介することにより、滋賀県立美術館や制作現場への興味を広げるきっかけとなった。</li></ul> <p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・事業は計画どおり実施できた。特にアール・ブリュットや信楽焼等の滋賀の美の魅力を磨き上げることにより、ひとつの観光コンテンツとして定着させ、県内を巡る文化ツーリズムの起点となることを目指していく足掛かりとなった。</li></ul>
---

#### ⑤拠点施設の要件に関する取組状況

要件	文化観光拠点施設名	滋賀県立美術館
・文化資源の魅力に関する情報を適切に活用した解説・紹介		滋賀ゆかりの生誕150年となる山元春拳の展覧会では、館蔵作品のほか各地の代表作を紹介し、その画業を一望できるものとした。また、県内にある重要文化財である春拳の別邸の特別公開についても民間団体との連携で実施した。
・情報通信技術の活用を考慮した適切な方法を用いた解説・紹介		キュレーターである学芸員のインタビューを交えながら、企画展の魅力を紹介する動画コンテンツを配信した。
・外国人観光旅客の来訪の状況に応じて、適切に外国語を用いた解説・紹介		英訳した展示解説パネルを設置した。
・文化観光の推進に関する多様な関係者との連携体制の構築		展覧会と連動して甲賀市観光まちづくり協会と連携し、展覧会とその作品を撮影した現場を巡るバスツアーを開催した。
・文化観光の推進に関する各種データの収集・整理・分析		美術館利用者の統計データや来館者アンケート調査（満足度等）の結果を全職員で共有し、各事業の企画や美術館魅力向上のための検討資料に活用している。
・文化観光の推進に関する事業の方針の策定及びKPIの設定・PDCAサイクルの確立		設定した目標に沿って、達成状況をモニタリングした。その結果を踏まえ、国内外の観光客に訴求できるコンテンツとして、滋賀における造形活動の原点となった「信楽焼の土」との関わりを絡めながら、その魅力を伝える「アール・ブリュットおよび信楽焼展示コーナー」を常設設置するなど、周遊の促進や利用者増加を図る取組を行っている。

#### ⑥観光関係者（DMOなど）からの評価

評価者	評価内容
公益社団法人びわこビジターズビューロー	<p>令和4年度における滋賀県の観光は、コロナ禍からの回復を目指し、県内外からの旅行需要を強かに喚起して観光消費の回復を図った一年であった。その結果、一定の効果が認められたが、コロナ禍以前の水準には至っていない。</p> <p>そのような状況の中で、県立美術館の取組は目標達成に至っていない項目はあるものの、着実に人数を伸ばし、コロナ禍からの回復が図れている事は評価できる。また、「アール・ブリュットおよび信楽焼常設コーナー」を設置するという新たな取組により受入環境を整備し、地域の文化資源を有効に活用できている点についても評価できる。</p> <p>本年度は、インバウンドも本格的に回復する事が見込まれるため、国内外に向けた取組を着実に実行され、目標を達成することを期待する。</p> <p>びわこビジターズビューローにおいても県立美術館との連携を深め、美術館が観光情報発信の、また観光周遊の拠点となるよう、さらに取り組んでいきたい。</p>

#### ⑦今後の改善の方向性

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、目標が達成できなかったが、観光需要回復の契機を逸することなく、「アール・ブリュット及び信楽焼展示コーナー」の充実を始めとした滋賀県ならではの取組を着実に進め、関係機関とも連携して効果的な広報にも努めていく。
--